

APIX
 <社外報>

AP通信

第4号

今年は記録的な猛暑から一転し、9月になり急に秋らしくなった気がします。気候の急激な変化は体調を崩しやすいもの。風邪などひかぬよう、体調管理をしっかりとっておきたいものです。さて、2020年に東京オリンピック開催が決定しました。当時は色々と技術革新が進んだ時期でもありました。過去に負けぬ発展をめざし、共に頑張っていきましょう。



2020年オリンピック「東京」に決定！

執行役員 制作本部長 平岩 伸一

暑さも和らぎ、朝夕はいくぶん過ごしやすくなってきました。私はなまった体をどうにかする為トレーニングに励み、スポーツの秋を楽しみたいと思います。スポーツといえば… そうです！ 2020年のオリンピック開催地が「東京」に決定しました!! オリンピックは海外大会というイメージがあり、再び日本で開催が「実現」するとは未だに実感が湧いていないのが正直な感想です。

2020年までの7年間にサービス業や建設業などにおよそ3兆円の経済波及効果が見込まれるという事をさっそく聞きました。これも嬉しい期待ですが、オリンピックの醍醐味といえば「観戦」「感動」。皆さまもオリンピックをTV等で観戦しつつ、いつかライブで感動を味わいたいと一度は思った事があるでしょう。それが7年後に「実現」できるかもしれません！ 今からワクワクします。

東京オリンピックが開催される7年後の2020年、弊社は「創業100年」を迎える事になります。7年後にお客様にとって良いパートナーとなる為には、今まで以上に「お客様の声」をしっかりと聞く事だと考えております。「オリンピック観戦がしたい」と同様に、お客様のビジネス上で「実現したい事」はございませんか？ 弊社はその「実現したい事」をしっかりと聞きしサービスの提供に努めております。

是非、お客様の「実現したい事」をお聞かせください。



「Xerox Best-of-the-Best Awards Contest」ダブル受賞を獲得!!



受賞トロフィーと共に 河村社長(中央右)と sense121 プロジェクトメンバー
 多数の喜びのコメントや高いリピート率、また法人のお客様にビジネス用のお中元やお歳暮などにご利用頂いている点なども併せてPRしました。

sense121はこのほど、XEROX CORPORATIONが主催する国際的なコンテスト「Xerox Best-of-the-Best Awards Contest*」に参加し、「デジタルパッケージ部門受賞」と「プリンターズチョイス受賞」の2つの賞を獲得しました。

出品内容は「ウェブサイトを経由し、お酒のオリジナルボトルラベルを作成できるサービス」として、猫や犬をモチーフにしたラベルのほか、ウェディング用、内祝い用など、人気のラベルを中心にワインや日本酒用に合わせてメッセージカード・のしなどラッピングも含めてトータルデザインしたものを。また、当サイトのもう1つのアピールポイントである、お客様から頂いている

sense121 プロジェクト

※ゼロックスプレミアパートナーグローバルネットワークメンバーに限り応募可能で、書類やデジタル印刷パッケージング、フォトパブリッシングなど、ゼロックスのデジタルプロダクション技術を活用した作品に対し、「画像品質」や「事業結果」などを基準に審査し、評価するコンテスト。



sense121 サイト

資格取得の取り組みについて

アピックスには7つの奨励資格があります。(詳細は弊社ホームページ「有資格者について」参照)。奨励の資格は弊社の業態と関連しているものもありますが、QC検定や情報セキュリティ管理士のように業態を問わず共通して必要な内容の検定試験もあります。試験なので合否が気になることは当然のことではありますが担当としては、結果とは別に資格を取ろうとする行為そのものにも大いに意味があると考えています。最近では自らが手を挙げ自発的に資格取得に取り組むケースも増えてきております。この傾向がさらに増し社内の活発化のひとつになればと考えております。

大阪管理部マネージャー 数野 充博



若手教育研修レポート

8月23日、24日の二日間、「近畿複写産業協同組合」主催の「若手社員育成研修」に参加しました。エチケット・マナーや挨拶など基礎的な事から後半はセールスの基本、お客様への提案方法など実践的な事を学びました。コミュニケーションスキルの中の「3つの『きく』の違い」が印象に残っています。

「きく」には、「聞く」「聴く」「訊く」の3種類があります。

- 「聞く」… 何となく耳に入ってくる(門構えの中に耳。つまり、聞きたくないことは聞かないということ)
- 「聴く」… 耳を傾けて真剣に話・音を聴くこと(耳を主にして、十四の心の一つにし集中して聴くこと)
- 「訊く」… 質問すること(時に言の刃となる。しっかり聴いて相手の感情をくみとり訊く)

昔、漢字を考えた人は凄いなあと関心してしまいました(笑)

日々の仕事の中でつつい忙しさに追われ「聞く」事になれてしまっていないでしょうか？

話す方はちゃんと「聴いて」ほしいと思っているかもしれません。自分本位では無く相手の気持ちを考えることで良いコミュニケーションが築けるのだと改めて感じました。

大阪制作部 仲野 文朗



APIX 社員紹介 東京制作部 シュレスタ マヘス

APIXに入社して3年、初日からサイトに出向し、お客様と同じフロアで作業する機会が多くありました。お客様と日常的にコミュニケーションを交わせる環境で仕事できる事は、我々にとってはBIG CHANCEです。真のニーズは現場の声の中にしかありません。それらを察知してよりよい商品として提供できる機会があれば、常に意識して日々の業務に取り組んでいます。こうして制作現場(ON SITE STAFF)で得ることのできる貴重な情報を営業担当とも共有してゆくことが、会社として大きな力になるものと確信しています。



BC会レポート <in 東京>

代表取締役 河村の発案により社員とのコミュニケーション活動の一環として、大阪、東京、各地で毎月誕生日の社員を招待し、バースデー会を開催しております。

8月20日(火)☆★7月、8月生まれの方のBC会★☆が行われました。場所は人形町にあるレストラン『ビストロZEN(マルゼン)』、能登の海の幸を豊富に取りそろえる落ち着いた雰囲気のレストランのお店です。店内はカウンター数席と8人掛けテーブルが1つと比較的小さいながらも、運ばれてくる料理はとて新鮮で、普段あまり見る機会のないキジハタや大きな岩ガキなど、どれも大変おいしくいただきました。普段なかなかお話しする機会のない河村社長や、別現場で働くアピックスメンバーと公私にわたってユニークな話で盛り上がり、本当に楽しいひと時を過ごすことができました。

東京営業部 吉村 英彰



ビストロZEN(マルゼン)

◎編集後記

9月になり、季節はもう秋になろうとしています。秋といえばスポーツ! ついに2020年のオリンピックが日本に決まりました。東京でオリンピックの観戦ができると思うと心が踊ります。オリンピックといえば「お・も・て・な・し」。APIXもウェルカムボード・サンキューカード・5S活動・社外報とおもてなしの活動を行っております。これからもAP通信はおもてなしの精神で社内外に情報を発信していきます。

事業企画室 山本 航平